

◇事務局便り◇

I 第17期・第3回常任理事会報告

平成27年12月23日に第17期・第3回常任理事会が九州大学東京オフィス（東京都千代田区）において開催されました。その概要は以下のとおりです。

1. 協議事項

1) 京都大会の日程及び企画について

京都大学農学部において開催される平成28年度研究大会は、平成28年9月15日（木）～18日（日）の期間で、4日間の日程で開催することが決まりました。大会実行委員長を引き受けていただいた小田副会長からは、今回の京都大会は、大会シンポジウム、地域シンポジウム、個別報告・分科会に加えて、京都府の北部地域、北丹後の地域活性化をテーマとしたエクスカッションについても実施することが提案され、了承されました。

このうち大会シンポジウム企画については、企画担当の木南副会長から、テーマ案として「農業におけるアントレプレナーシップとイノベーション」が提案されました。これは、昨年のシンポジウムにおいて、アントレプレナーシップと人材育成をテーマにしたが、28年度はイノベーションに重点を置き、リーダーシップや産業としての農業の視点からの議論をめざしたいという提案理由に基づきます。シンポジウムの論点としては、日本の農業全体を上向きしていくにはイノベーションを波及させていくことが必要であり、それには、バリューチェーンのどこでイノベーションがおこっているか見ていく必要があるといった点が上げられました。詳細は、今後、企画担当副会長及び座長を中心に検討していくことになりました。

なお、研究大会については、その後の検討を経た現時点での予定を本誌冒頭の青色ページに掲載しています。

2) 日本農業法人協会と日本農業経営学会との連携協力について

産官学連携担当の会長指名理事である佛田会員より、日本農業経営大学校と同様に日本農業法人協会とも学会で連携していきたいという趣旨の提案が行われるとともに、農業経営を実践している学会会員を中心に「経営者部会」を設立し、情報共有を進めたいとの提案がありました。これらについて理事会で検討した結果、今後、法人協会との連携協力協定を締結するとともに、「経営者部会」については、活動内容を趣意書にまとめ、メンバー候補の選定を進めていくことになりました。

2. 報告事項

1) 学会事務局業務の外部委託等について

既に1月号でもお知らせしましたが、平成27年11月より、会員管理と会費請求業務を農林統計協会に外部委託しました。事務手続きに変更はありませんが、以後、農林統計協会から会費納入等についての問い合わせがある場合があります。京都大会からは、報告論文の受付も外部委託の予定です。

2) 学会刊行図書の見直し状況について

日本農業経営学会編による「家族農業経営の変容と展望（仮称）」の刊行企画については、現在、原稿を集め、出版に向けた準備中であることが報告されました。28年の5月末の刊行を目標としています。

3) 次期理事の選出について

2016年度は役員改選の年にあたります。次期理事の選出に向けて御協力をお願いします。

4) 第4回理事会について

第17期第4回理事会は、2016年度日本農業経済学会大会に合わせて、3月28日（月）に秋田市で開催されることが報告されました。